

第十五章 閉塞船

第一節 閉塞船ノ艤裝

第一目 第一回閉塞船仁川丸、武陽丸、天津丸、報國丸、武州丸

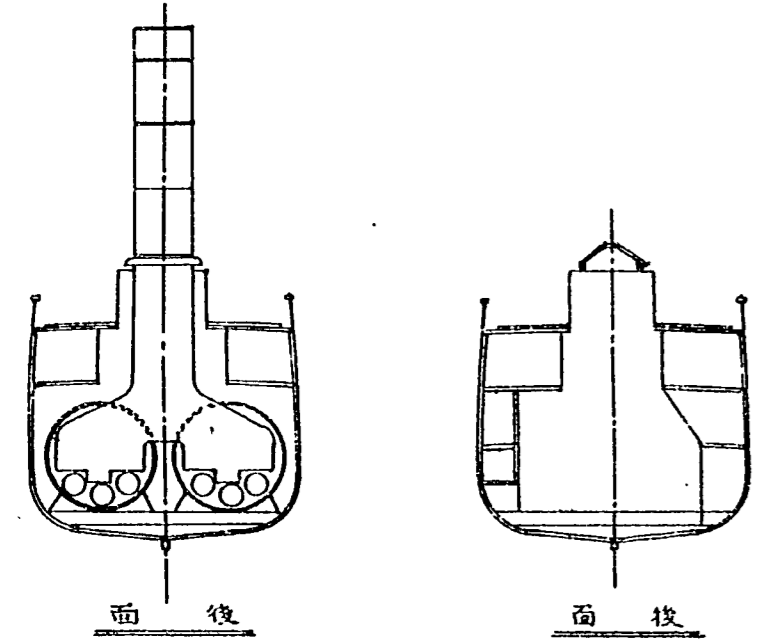
仁川丸外四隻ハ、左表記載ノ年月日ニ於テ各船主ト傭入契約済ノ後、特別任務ニ使用スルカ爲メ佐世保軍港ニ回航シ、不用品ノ陸揚ヲ施行シ、別ニ何等ノ艤裝ヲ施スコトナク、二月十四日前進根據地ニ向ケ出發セリ、(附圖及ヒ卷末) (要目表参照)

船名	船主	傭入年月日
仁川丸	日本郵船株式會社	三七、一、六
武陽丸	日本商船株式會社	三七、一、六
天津丸	日本郵船株式會社	三七、一、七
報國丸	森三樹太郎	三七、一、八
武州丸	日本商船株式會社	三七、一、八

(編者曰ク武陽丸ノ船體圖ハ本篇第十三章運送ノ部参照武州丸ハ原圖ナキヲ以テ掲載セス)

仁川丸全体艦装

縮尺三分一(対寸)七呎六寸



— 端舟寸法 —

第一 軟骨端舟	27'-7" x 8'-8 1/2" x 3'-4"
第二 軟骨端舟	27'-9" x 8'-6" x 3'-3"
第三 軟骨端舟	25'-2 1/2" x 7'-4 1/2" x 2'-5 1/2"
第四 軟骨端舟	25'-0 1/2" x 7'-2 1/2" x 2'-7"
第五 軟骨端舟	22'-0" x 6'-3" x 2'-4"
第六 軟骨端舟	21'-3" x 6'-0 1/2" x 2'-4 1/2"

— 噸數 —

總噸噸數	2332.
淨噸噸數	1446.

— 重要寸法 —

長	312'-0"
幅	34'-0"
深	27'-0"

— 荷物積載容量 —

船倉 第一區	23200 噸噸 = 580.噸
船倉 第二區	32640 噸噸 = 816.噸
船倉 第三區	22000 噸噸 = 550.噸
中甲板	12480 噸噸 = 312.噸
汽機汽機室敷設中甲板	16240 噸噸 = 406.噸
汽機汽機室敷設中甲板	9600 噸噸 = 240.噸
合計	116160 噸噸 = 2904.噸
前部中甲板第一區	5920 噸噸 = 148.噸
合計	122080 噸噸 = 3052.噸

— 載炭量 —

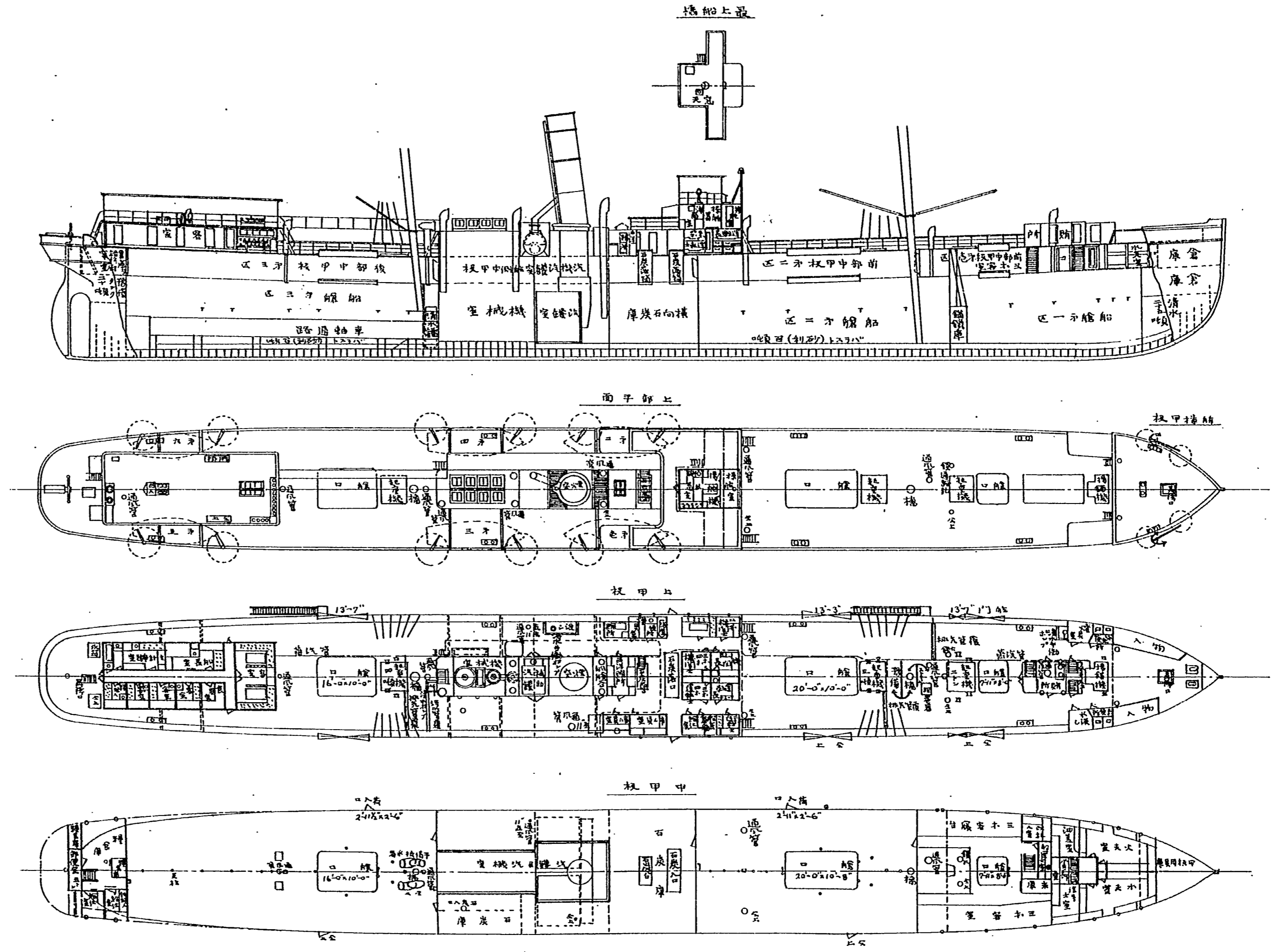
橫向石炭庫	13476 噸噸 = 320.9 噸
本船石炭庫	2146 噸噸 = 51.0 噸
合計	15622 噸噸 = 371.9 噸

— 砂利積載量 —

船倉 第一區	100.噸
船倉 第二區	100.噸
合計	200.噸

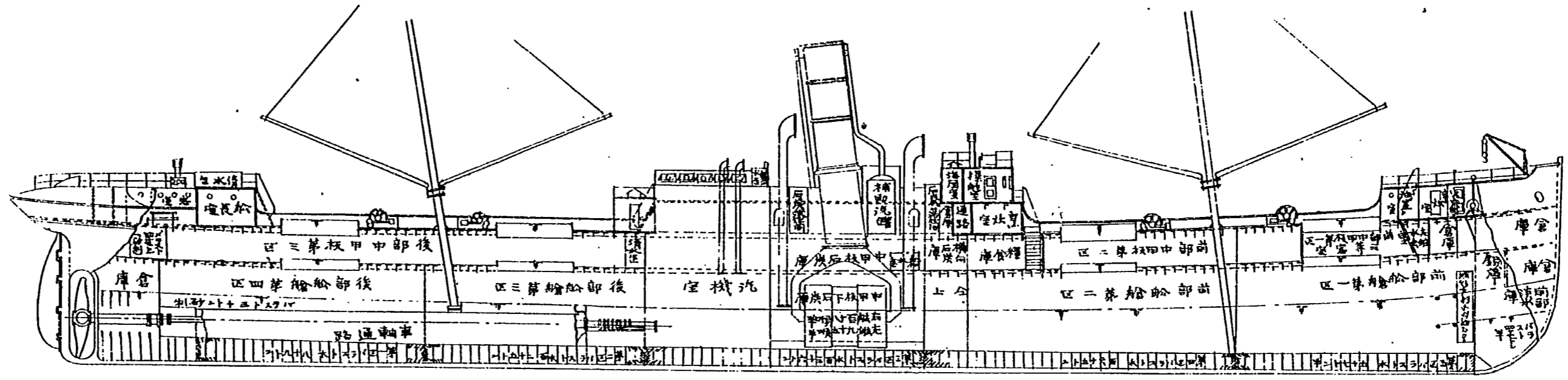
— 水積載量 —

鐵口二個	14.噸
前部水艙内	25.噸
合計	39.噸



天津丸全体艦装

箱三倉並電燈吹



第一二三四五六
第一二三四五六

— 端舟寸法 —

救命端舟	24-3' x 17-3' x 3-2'
4/7	22-5' x 16-2' x 2-6"
救命端舟	23-6' x 17-3' x 3-2'
2/3	23-9' x 17-3' x 3-2'
2/2	23-3' x 17-3' x 3-2'
2/1	26-4' x 17-2' x 2-6"

— 噸數 —

報噸數	2943
登簿噸數	1707

— 重要寸法 —

長	315' 0"
水	42' 6"
深	27' 7"

— 荷積積載容量 —

船倉 第一区	27720 cf = 693 tons
第二区	39080 = 977 "
第三区	27640 = 691 "
第四区	23840 = 596 "
中甲板 第一区	12840 = 321 "
第二区	25800 = 645 "
合計	156920 cf = 3928 tons
中甲板 第一区 三第船部	6520 = 163 tons
合計	163440 = 4086 tons

— 載炭量 —

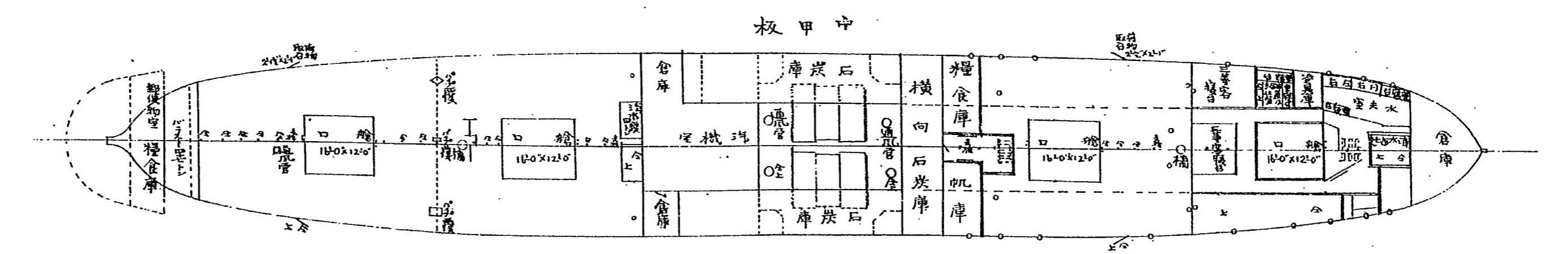
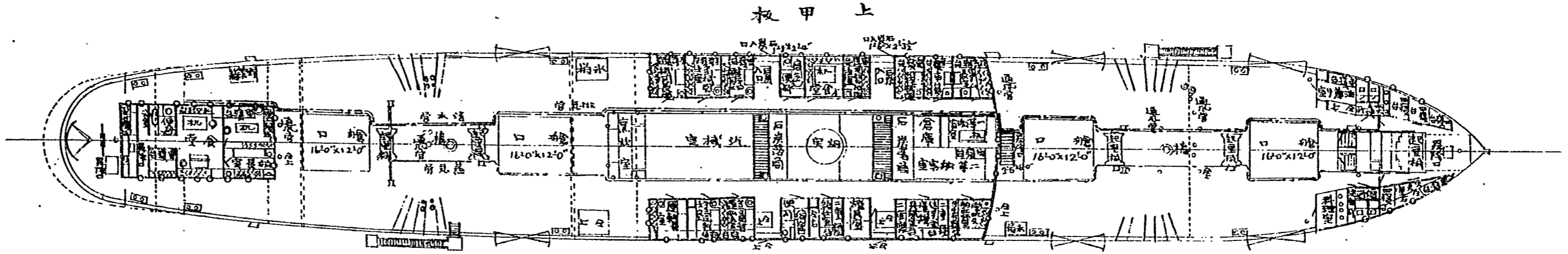
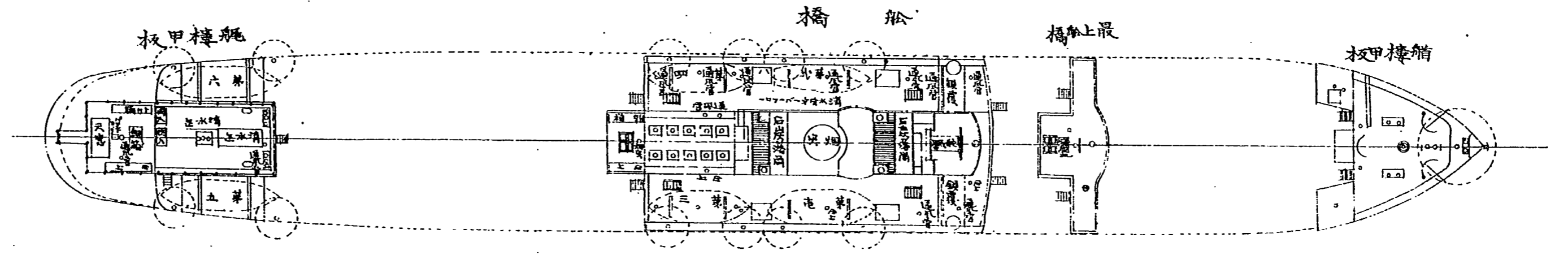
下部石炭庫 (右舷)	5332.5 cf = 127.0 tons
中甲板石炭庫 (右舷)	4297.6 = 102.3 "
中甲板石炭庫 (左舷)	4297.6 = 102.3 "
中甲板石炭庫 (左舷)	3600.0 = 85.7 "
中甲板石炭庫 (中甲板)	6820.0 = 162.4 "
合計	27087.5 cf = 644.9 tons

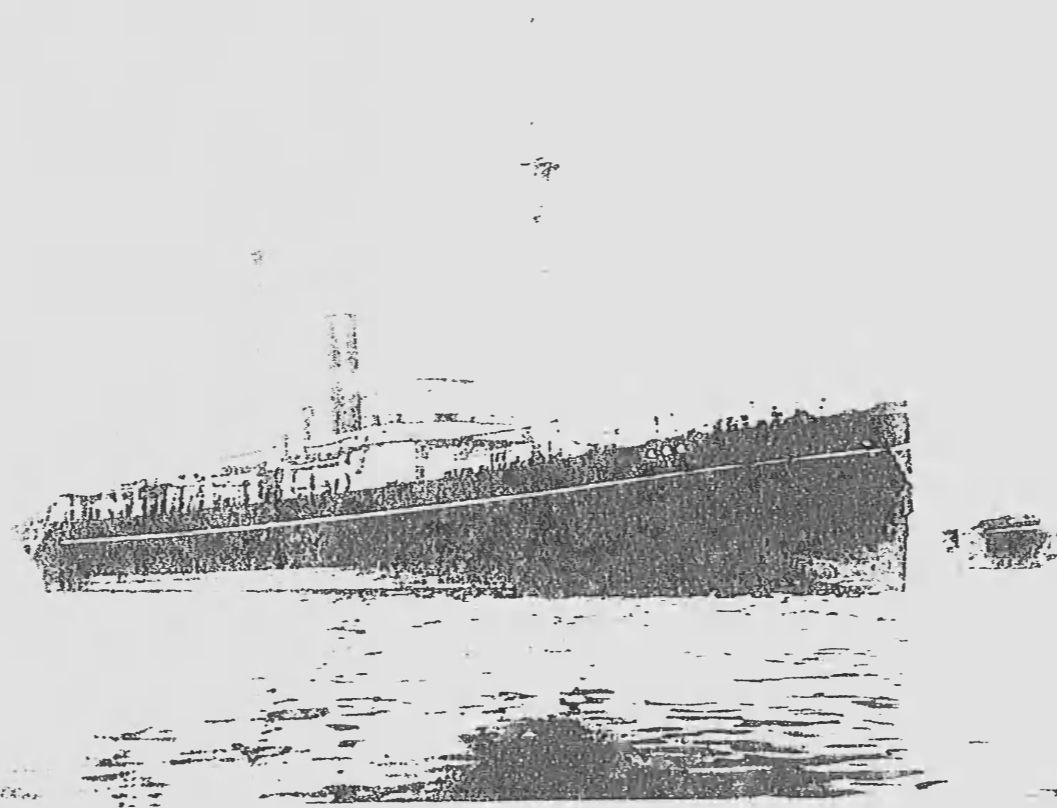
— 水搭載量 —

二重艙 第一区	89 tons
第二区	112.5 "
第三区	136 "
第四区	166 "
第五区	573 "
合計	620 tons

— 石搭載量 —

松輪第四区	47 tons
中甲板第三区	30 "
合計	77 tons





大和

大和丸

第二目 第二回閉塞船千代丸、福井丸、米山丸、彌彦丸

千代丸外三隻ハ、各船主ト傭入契約済ノ後、運送船ノ役務ニ服セシメシカ、三十七年三月四日特別任務ニ服スルコト、ナリタルヲ以テ、其ノ筋ノ命ニ依リ大阪及ヒ吳軍港ニ於テ所要ノ艤装ヲ施シ、聯合艦隊所在地ニ向ケ出發セリ、而テ船名、船主、傭入年月日、艤装工廠、起工及ヒ竣工年月日ヲ表示スレハ左ノ如シ、

船名	船主	傭入年月日	艤装工廠	起工年月日	竣工年月日
千代丸	緒明菊三郎	三六、一三、二一	吳海軍工廠	三七、三、八	三七、三、九
福井丸	右近權左衛門	三七、一、一〇	同	三七、三、九	三七、三、一〇
米山丸	板谷合名會社	三七、三、五	同	三七、三、一〇	三七、三、一〇
彌彦丸	右同	三七、三、七	同	三七、三、一〇	三七、三、一〇

(編者曰ク千代丸、福井丸、米山丸船體圖ハ本篇第十三章運送船ノ部參照又彌彦丸ハ原圖ナキヲ以テ掲載セス)
又以上各船ノ工所要領左ノ如シ(附圖及ヒ卷末)
要目表參照)

特別任務實施ノ爲メ彌彦丸ニ搭載セシ物品左ノ如シ

- 一、十六斤綿火藥罐三十二個 小裝鎧電纜千五百米突 十電器電池八個 試驗電池四個
- 此等兵器ハ船體爆沈用トシテ各船ニ分配艤装セシム而テ其ノ艤装ハ前進根據地ニ於テ内密ニ施行セリ

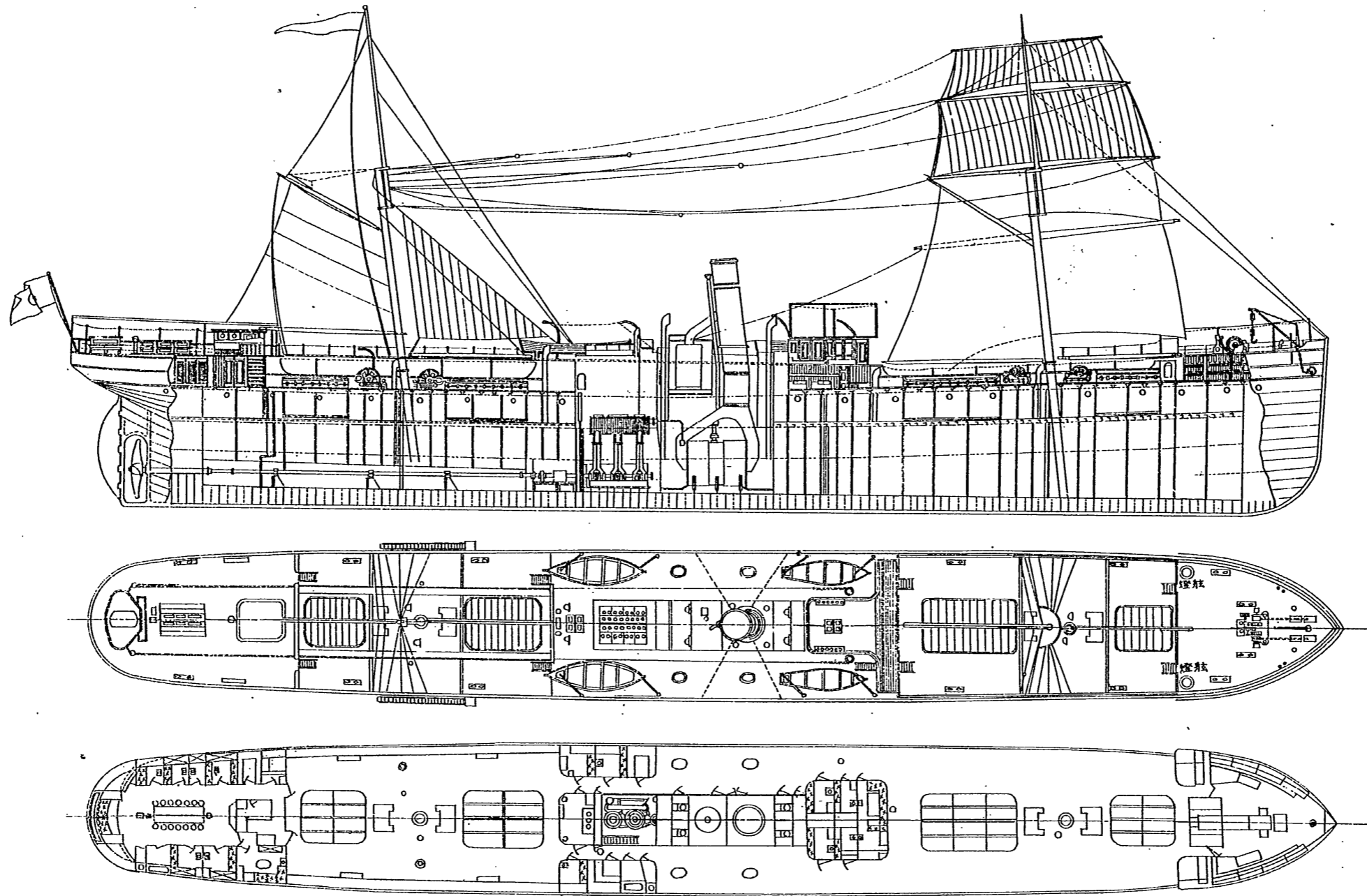
一、「バラスト」トシテ石材ヲ大阪及ヒ家島ニ於テ搭載セルコト左記明細表ノ如シ

一、石材搭載後再吳軍港ニ回航シ左ノ艤装ヲ施セリ
 一、各船トモ前甲板ニ一吋諾典砲各二門ヲ据附ケ一門ニ付「ホッパー」十個、彈藥三十函ヲ準備ス

「バラスト」搭載明細表

事項	積込材										
	「クッロブ」			大割石			小割石			合計	
	個數	重量	代價	坪數	重量	代價	坪數	重量	代價	重量	代價
千代丸	三一	二四八	一〇八五〇〇〇	五五五〇〇	五五五	六六六〇〇〇	一一五〇七〇	一一五一	一三八〇八四〇	一九五四	三、三一八四〇
福井丸	六	四八	二一〇〇〇			一三九四一〇	一三九四	一六七二九二〇	一四四二	一八八二九二〇	
彌彦丸	五一	四〇八	一七八五〇〇〇	五三七〇〇	五三七	六四四四〇〇	一六九二六〇	一六九二	三〇三三二二〇	二六三七	四四六〇五二〇
米山丸	一〇二	八一六	三、五七〇〇〇	四三一〇〇	四三一	五一七二〇〇	一一八五三〇	一一八五	一四二二三六〇	二四三二	五、五〇九五六〇
總計	一九〇	一、五二〇	六六五〇〇〇〇	一五二〇〇〇	一、五二三	一八二七六〇〇	五四二二七〇	五四二二七〇〇	六五〇七二四〇	八四六五	一四、九八八四〇

第二回閩塞船千代丸



縮尺三百八拾四分ノ壹

重要寸法

長—全長	312.0	噸敷 下甲板	2236
同上 垂線間	300.0	同上 総登簿	2482
幅 最廣部	400	同上 純登簿	1644
深	253	汽機馬力 300 汽筒 24.39.54×42	
同上 上甲板ヨリ龍骨ニ至ル	290	汽鑪二重兩口二個 150封 直径 11.9	

第三目 第三回閉塞船新發田丸、釜山丸、愛國丸、江戸丸、佐倉丸、相摸丸、

朝顔丸、三河丸、遠江丸、小樽丸、小倉丸、長門丸

新發田丸外十一隻ハ各船主ト傭入契約済ノ後、通信及ヒ運送ノ任務ニ服セシメシカ、明治三十七年四月中旬其ノ筋ノ命ニ依リ、特別任務ニ服スルコト、ナリタルヲ以テ、播磨國家島ニ回航シ、同地ニテ「バラスト」ヲ搭載シ、更ニ吳軍港ニ回航シテ所要ノ艤裝ヲ施シタリ、其ノ船名、船主、傭入年月日、艤裝工廠、起工及ヒ竣工年月日ヲ表示スレハ左ノ如シ、

船名	船主	傭入年月日	艤裝工廠	起工年月日	竣工年月日
新發田丸	遞信省	三七、四、八	吳海軍工廠	三七、四、一四	三七、四、一八
釜山丸	大阪商船株式會社	三七、二、九	同	三七、四、一四	三七、四、一八
愛國丸	大家七平	三七、四、九	同	三七、四、一二	三七、四、一七
江戸丸	廣海二三郎	三七、四、八	同	三七、四、一二	三七、四、一七
佐倉丸	日本郵船株式會社	三七、一、六	同	三七、四、二二	三七、四、二二
相摸丸	同	三七、二、五	同	三七、四、一九	三七、四、二〇
朝顔丸	同	三七、二、五	同	三七、四、一七	三七、四、一九
三河丸	同	三七、二、九	同	三七、四、一一	三七、四、一八
遠江丸	同	三七、四、八	同	三七、四、一五	三七、四、一八
小樽丸	同	三七、四、九	同	三七、四、一四	三七、四、一七

船名	主船	備入年月日	艤装工廠	起工年月日	竣工年月日
小倉丸	同	三七、二、七	吳海軍工廠	三七、四、一六	三七、四、一九
長門丸	同	三七、二、七	同	三七、四、一九	三七、四、二一

(編者曰ク佐倉丸、相摸丸、小倉丸、長門丸ノ船體圖ハ本篇第十三章(運送船ノ部参照新發田丸、愛國丸ハ原圖ナキヲ以テ掲載セス)

以上各船ノ工所要領左ノ如シ、(附圖及ヒ卷末)
(要目表参照)

- 一、各船トモ船橋後方ニ諾典砲二門ヲ裝備ス
- 一、諾典砲每一門ニ付「ホッパー」七個、彈藥五百七十六發ヲ準備ス
- 一、新發田丸、小倉丸ニハ探海燈一基及ヒ發電機一基ヲ備ヘ長門丸ニハ探海燈一基ヲ備フ
- 一、各船トモ豫備舵器トシテ「レリービングタークル」ヲ裝備ス
- 一、船體動搖ノ危険ヲ防ク爲メ「バラスト」用トシテ第三種炭約四百噸宛ヲ前後「ホールド」ノ船底ニ平ニ分載ス
- 一、各船ニ自船用トシテ煉炭又ハ英炭五十噸宛ヲ石炭庫ニ搭載ス
- 一、各船トモ船體ノ許ス限り「バルクヘッド」ノ「リベット」ヲ除却シ各部ノ水防區劃ヲ不完全ナラシム
- 一、各船用トシテ新發田丸ニ左ノ兵器需品ヲ搭載ス

十六斤綿火藥

百四十四個

發火藥罐信管トモ

九十六個

小裝鎧電纜

八千米突

十電器電池箱

四十八個

試驗用電池

十二個

發火電鎗

四十八個

水雷要具囊

十二個

牛眼燈

十二個

傳聲器

十二個

「ナイトグラス」

十二個

「スピードマーク」

十二個

一、各船用トシテ小倉丸ニ左記ノ物品ヲ搭載ス

繃帶小包

二百四十個

中洋蠟

千本

一、各船ニ韓國海州邑附近海圖一葉竝ニ韓國及ヒ北清沿岸高潮時表(三、四、五、六、月分)一部ヲ備フ

一、端舟其ノ他羅鍼儀等ノ不完全ナルモノハ修理若クハ引換ヲ爲シタリ

一、各船ニ搭載シタル石材ノ航海中輾轉スルヲ防キ且實體タラシムルヲ必要ト認メ左ノ通

リ石材ノ間隙ニ「コンクリート」ヲ填隙セリ

愛國丸、江戸丸、小樽丸ハ中甲板ノ分ノミニ施行シ遠江丸ハ吃水ノ都合ニ依リ實施セス

其ノ他ノ船舶ハ中、下甲板トモ施行シ凡テ實體タラシメタリ

一、各船トモ舷側ノ船名ヲ塗抹シ家島ニテハ運送船旗ヲ掲ケス

一、糧食ハ船員用約一ヶ月分ヲ搭載シ淡水ハ滿載ス

一、各船トモ白、赤、青ノ信號燈ヲ備フ

一、羅鍼自差表ヲ調整ス

一、船橋ヨリ機械室ニ至ル傳話管ヲ新設ス

但傳話管ノ屈曲部ニハ護謨管ヲ用ヒ其ノ他ノ部分ハ鐵管ヲ使用スル等最經費ヲ要セサル方法ヲ採レリ

一、爆發用裝藥ノ位置ハ前後及ヒ機械室ニ四箇所ノ用意ヲ爲セリ

一、機械室左右舷ニ電池位置棚ノ裝備ヲ爲ス

此等特別運送船準備完成後ノ喫水左ノ如シ

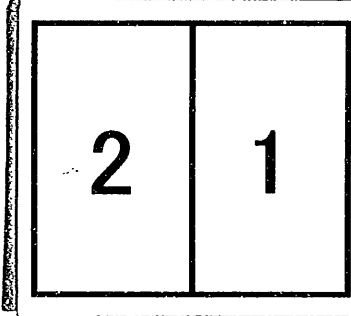
船名	搭載前吃水	石材搭載後吃水	「コンクリート」ノ量	裝藥裝置用砂量	記 事
江戸丸	一九〇	二二三	二二八九九	一五	此ノ外混凝土一ブロック九十六噸ヲ搭載ス
愛國丸	一九〇	二二〇	五六〇二	一三	此ノ外混凝土二百四十八噸ヲ搭載ス
小樽丸	一九六	二二〇	八四二八	二八	

第十五章 第二節 第三目 第三回閉塞船

新發田丸、釜山丸、愛國丸、江戸丸、佐倉丸、相摸丸、朝顔丸、三河丸、遠江丸、小倉丸、長門丸

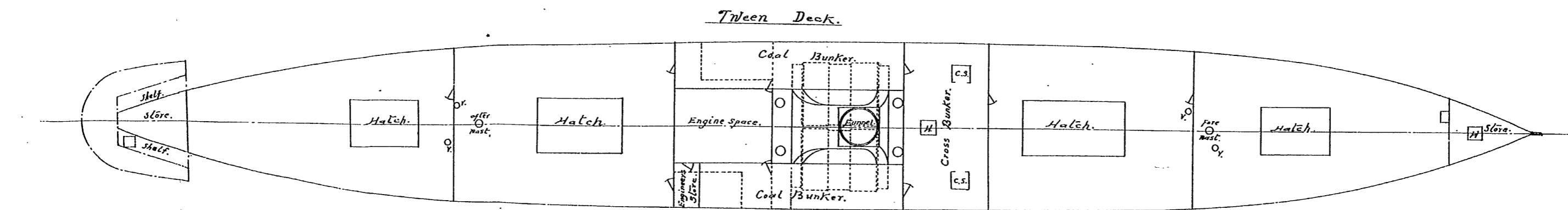
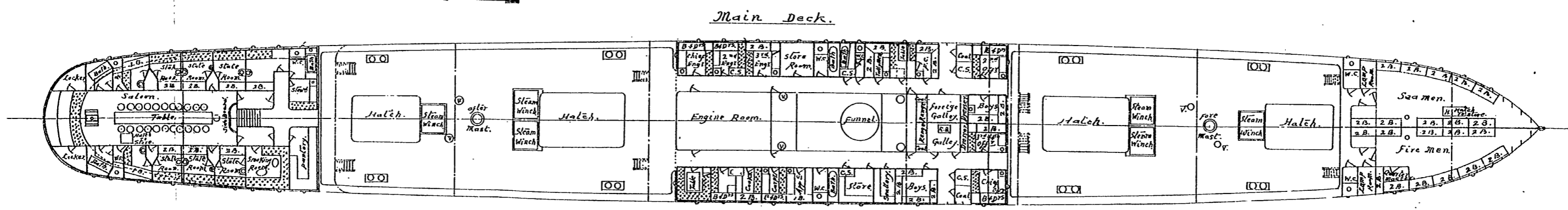
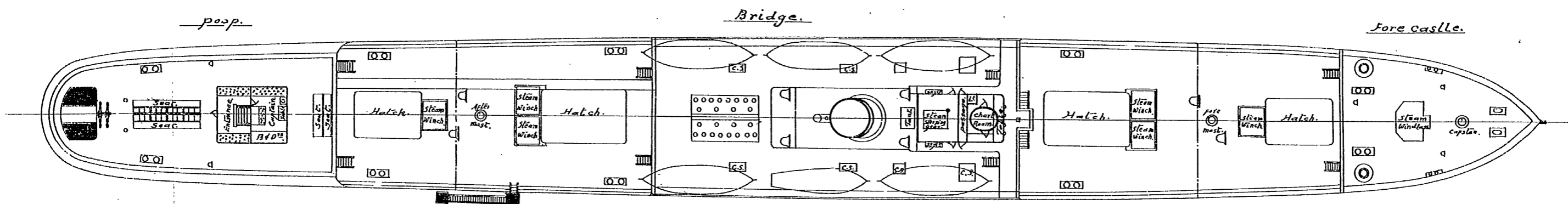
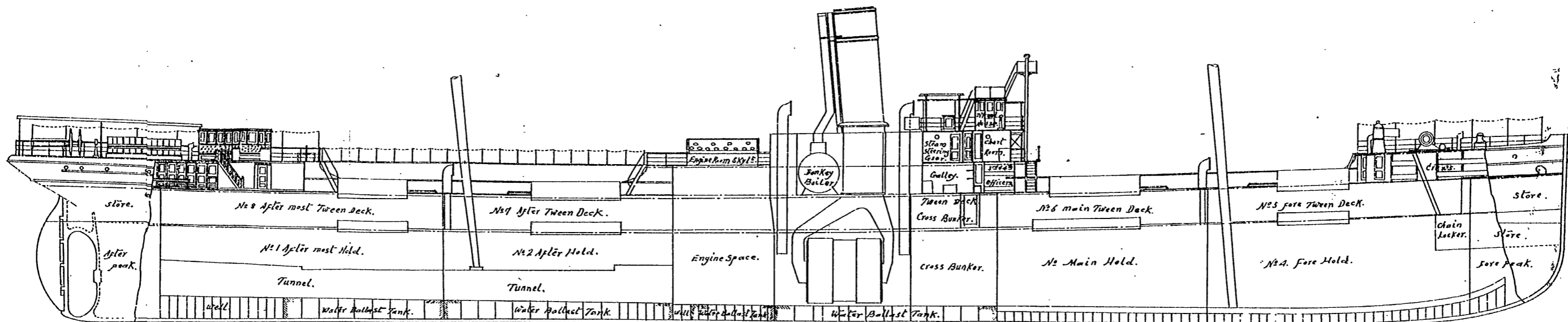
新發田丸	二〇八	二一九	二二三	一〇、四九七	一三〇	二〇
小倉丸	二一〇	二三〇	二三五	一、九四三七	一〇〇	二〇
三河丸	一九〇	二二三	二一八	一、一九五二	一三〇	二〇
釜山丸	二〇五	二二六	二二二	一、九二七九	一〇〇	二〇
遠江丸	一九二	二一〇	二一一	一〇、七二七	〇	二〇
朝顔丸	一九三	二二三	二一八	三〇、一一四	一一〇	二〇
相摸丸	一七八	一九六	一九〇	六、一九六	九〇	二〇
長門丸	一八四	二〇〇	二〇五	六、三六三	一二〇	二〇
佐倉丸	一九七	二二〇	二二四	二、一三三〇	一三〇	二〇

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

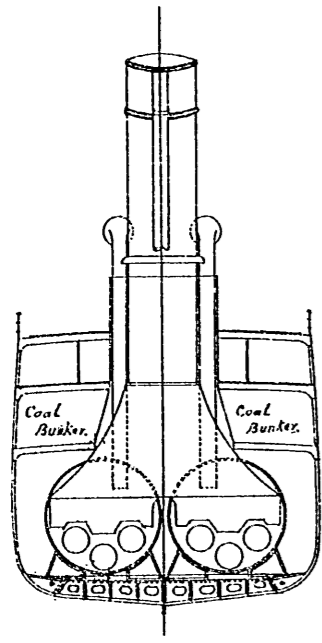
新發田丸船內裝置圖

縮尺二百八十分一

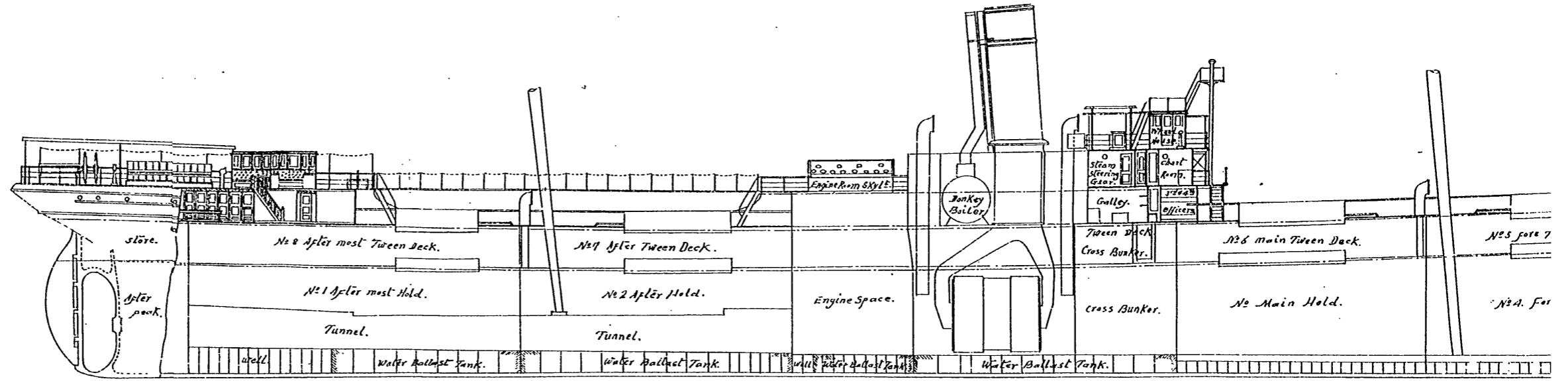


新發田丸船內裝置圖

縮尺二百八十分之一



Looking Forward.



poop.

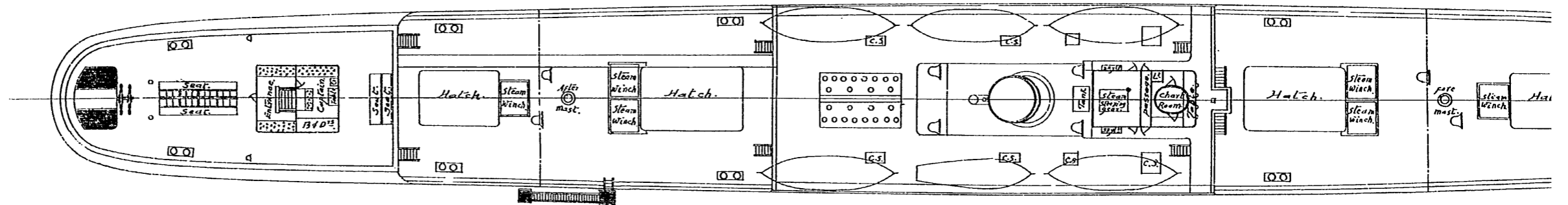
Bridge.

— Tonnage —

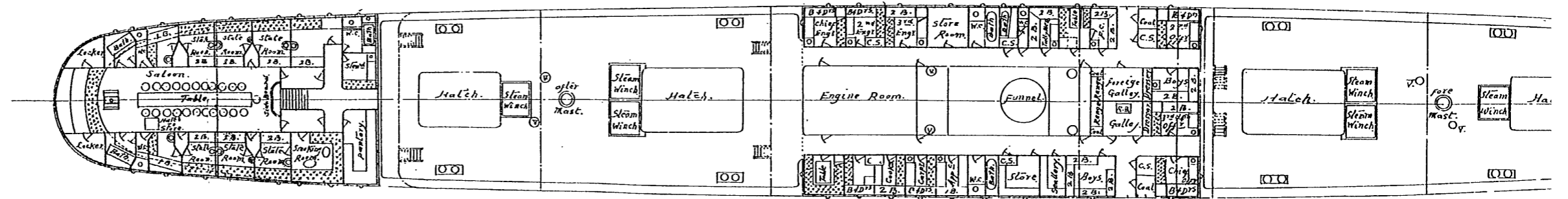
Gross ----- 2690
 Nett ----- 1714

— Dimensions —

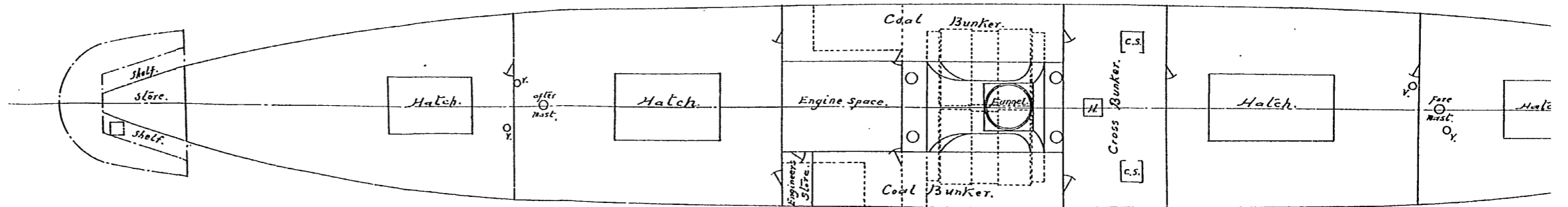
Length ----- 340.0ft.
 Breadth ----- 40.0.
 Depth ----- 25.0'



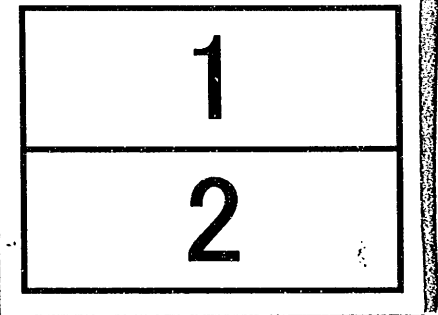
Main Deck.



Tween Deck.

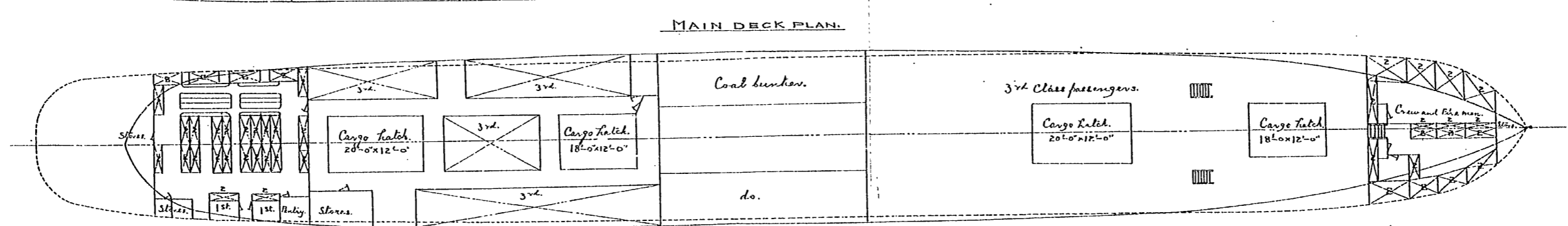
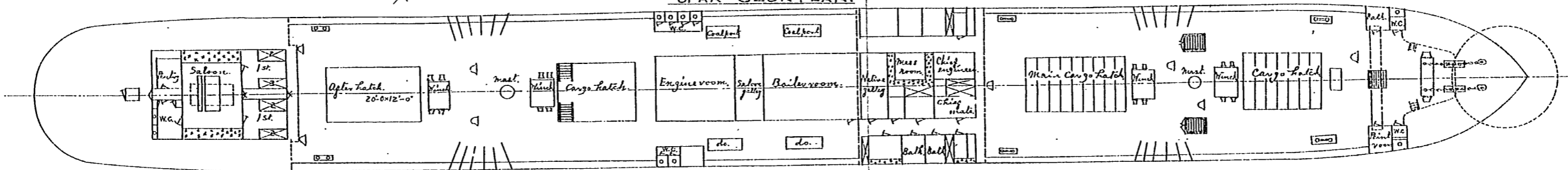
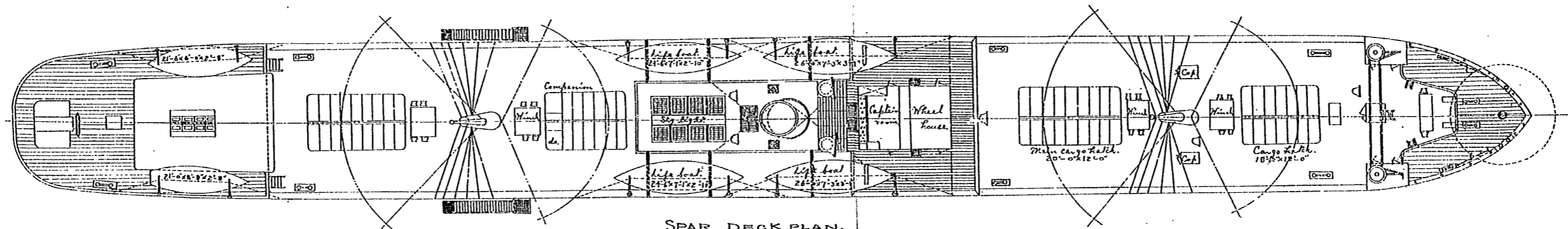
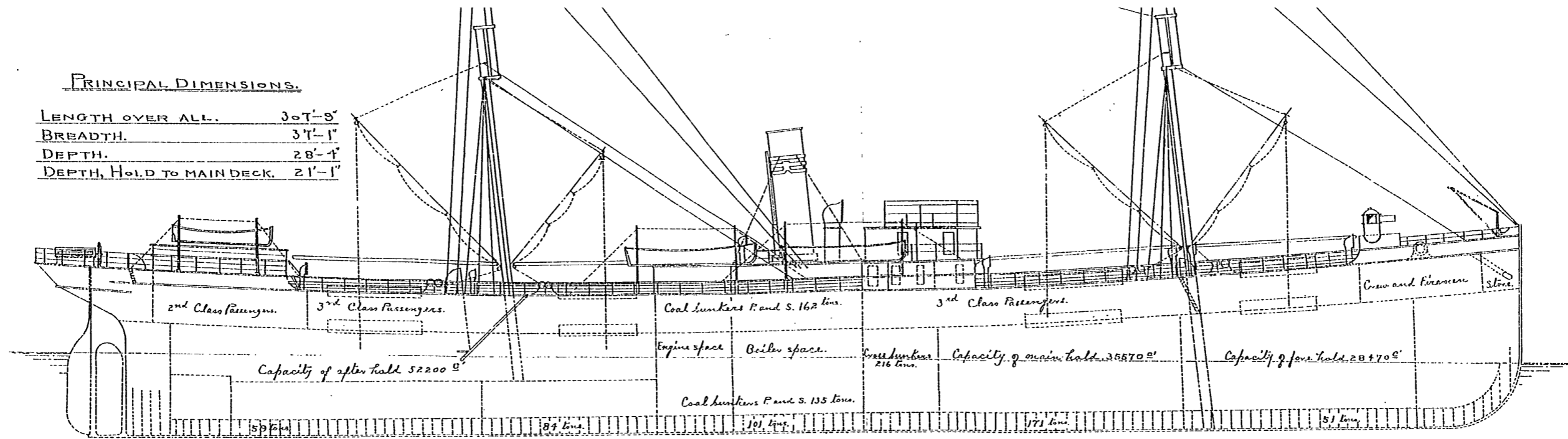


分割撮影ターゲット

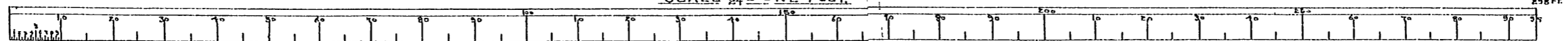
分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

PRINCIPAL DIMENSIONS.

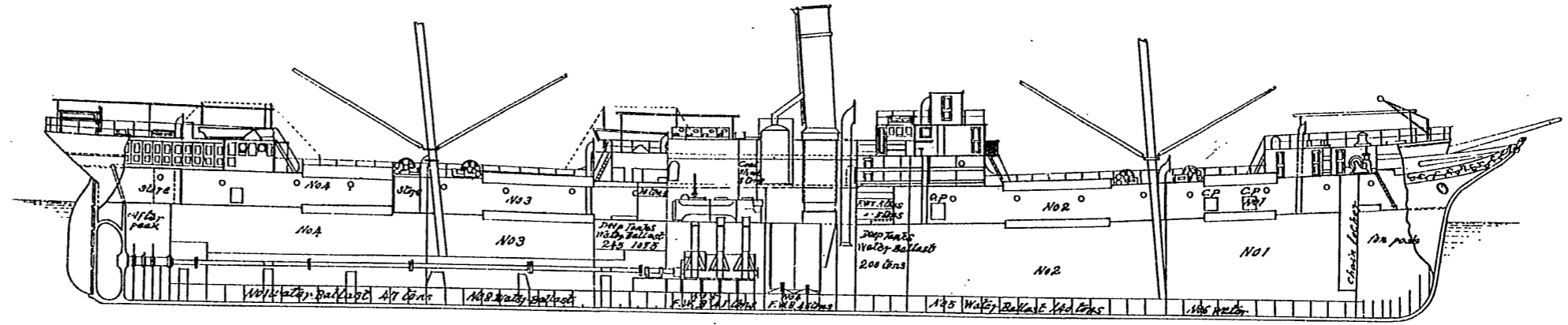
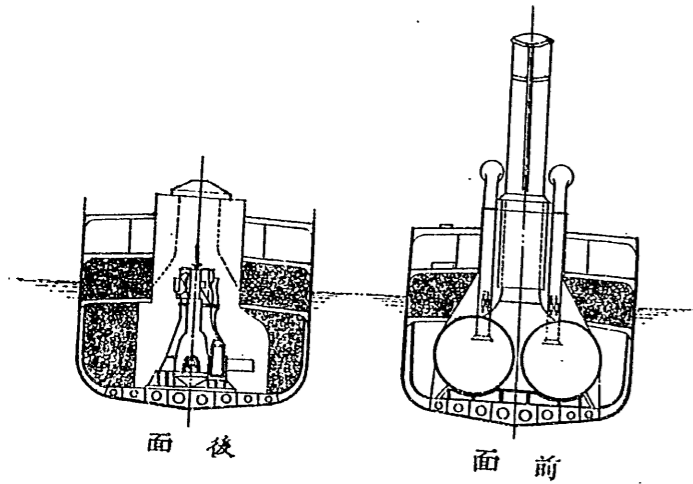
LENGTH OVER ALL.	307'-9"
BREADTH.	37'-1"
DEPTH.	28'-4"
DEPTH, HOLD TO MAIN DECK.	21'-1"



SCALE 1/288 = ONE FOOT.



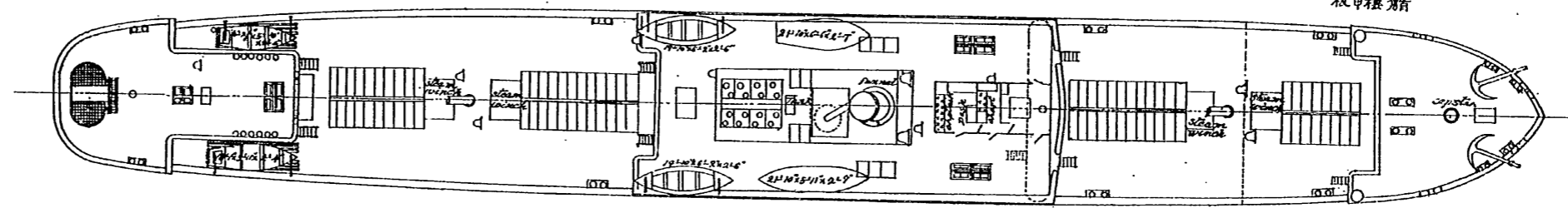
第三回閉塞船朝顔丸



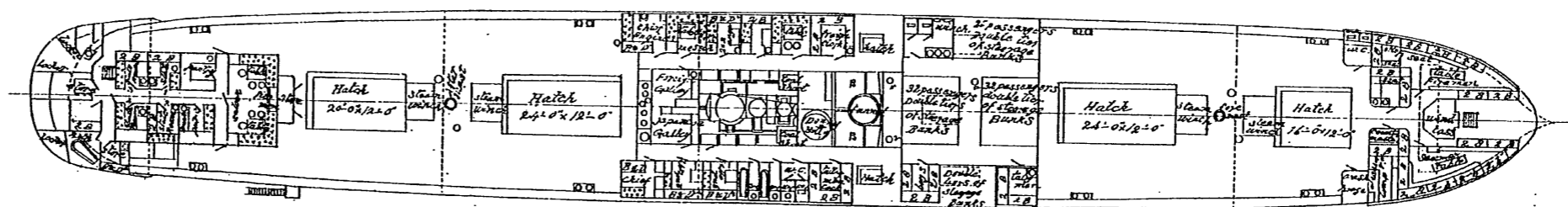
板甲接航

橋船

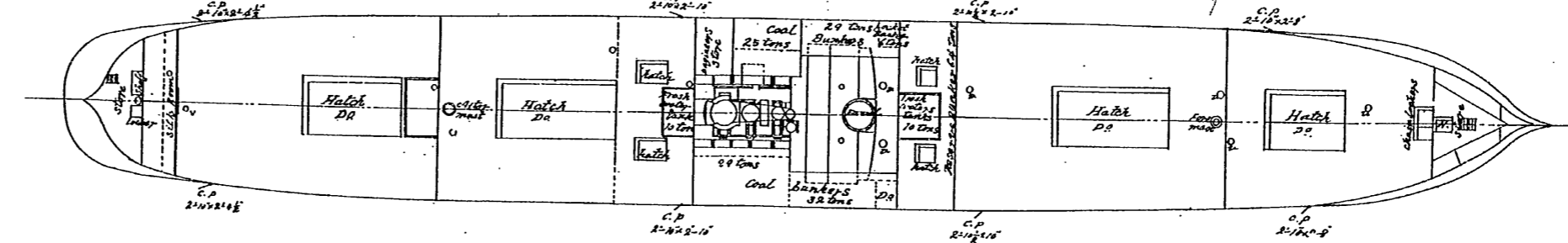
板甲接航



板甲上



板甲中



噸數

總積噸數 2461
 登簿噸數 1926

重要寸法

長 297' 0"
 幅 39' 0"
 深 26' 2"

荷物積載容量

四十立方呎一噸トス

船艙後部第四區	2214.2	立方呎=554	噸
" 第三區	1721.0	"	430
前部第二區	3091.2	"	773
" 第一區	2036.4	"	509
前部中甲板第一區	972.0	"	243
" 第二區	1382.2	"	346
後部第三區	1279.8	"	320
" 第四區	1241.3	"	310
合計	13938.1	"	3485
前部水艙	700.0	"	175
後部	867.5	"	214
合計	15495.6	"	3874

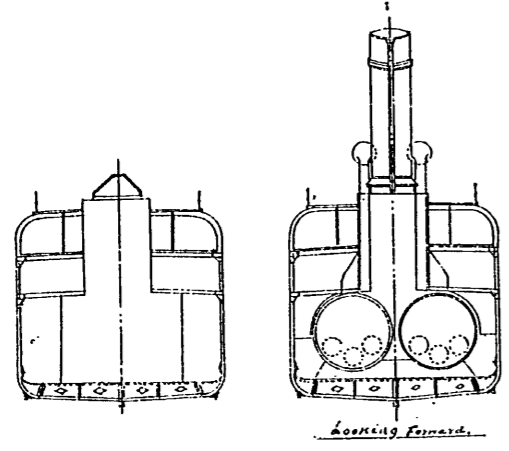
載炭量

左舷中甲板機械室	25	噸
右舷	39	"
左舷汽罐室	29	"
右舷	32	"
左舷機械室	19	"
右舷	59	"
艙庫	12	"
石炭落口	8	"
合計	223	"
中甲板第二區煤備庫	64	"
合計	287	噸

水塔載量

第一	47	噸
第二	108	"
第三	41	"
第四	45	"
第五	140	"
第六	39	"
後部	30	"
" 水艙內	245	"
前部	200	"
合計	895	噸

第三回閔塞船三河丸 縮尺三百八拾四分ノ壹



端舟寸法

第一船艙	25'-0" x 11'-1" x 3'-0"
第二船艙	25'-2" x 11'-2" x 3'-1 1/2"
第三船艙	21'-8 1/2" x 6'-7 1/2" x 2'-9"
第四船艙	20'-1" x 8'-7" x 2'-7"
第五船艙	21'-6" x 8'-9" x 3'-5"
第六船艙	22'-3" x 8'-3 1/2" x 2'-0"
總積噸數	1468.
空積噸數	1404.
定規間長	260'-0"
大樑	36'-0"
深	18'-9"

荷物搭載容量

(四十五噸ノ一噸トス)

第一船艙	26400 噸噸 = 660. 噸
第二船艙	20360. = 509. "
第三船艙	20360. = 509. "
第四船艙	14200. = 355. "
第五中甲板	9880. = 247. "
第六中甲板	5480. = 137. "
第七中甲板	10680. 噸噸 = 267. 噸
第八中甲板	3600. = 90. "
第九中甲板	7728. = 193. "
第十備用	合計 123802 噸噸 = 3095. 噸

載炭量

(四十五噸ノ一噸トス)

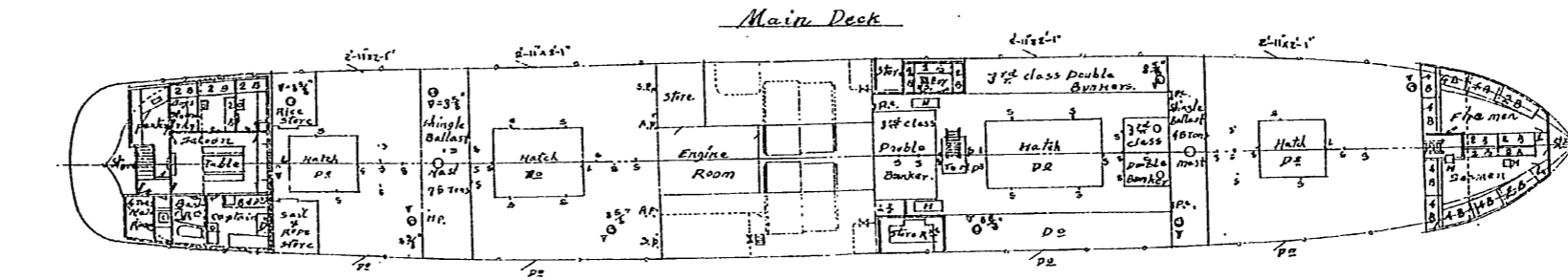
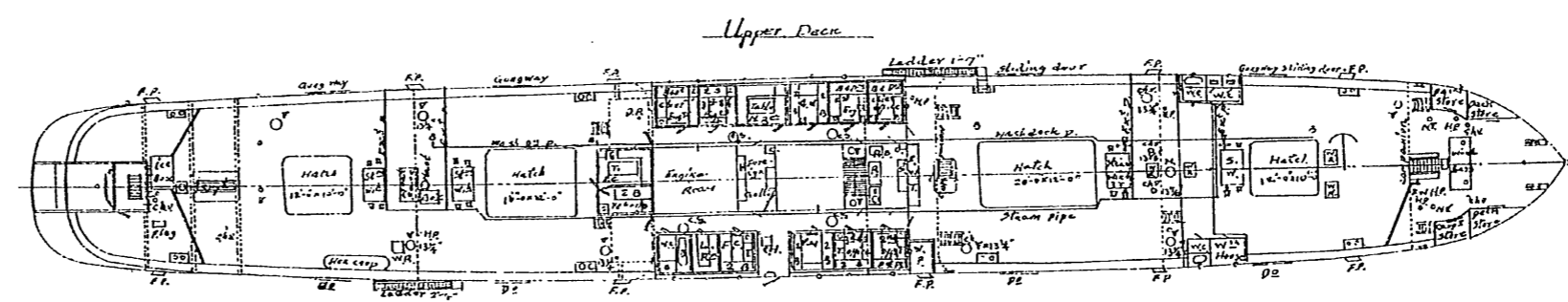
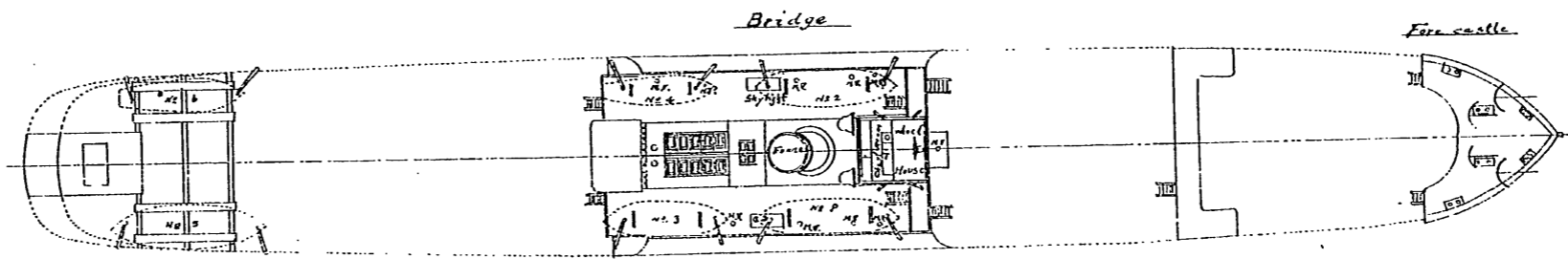
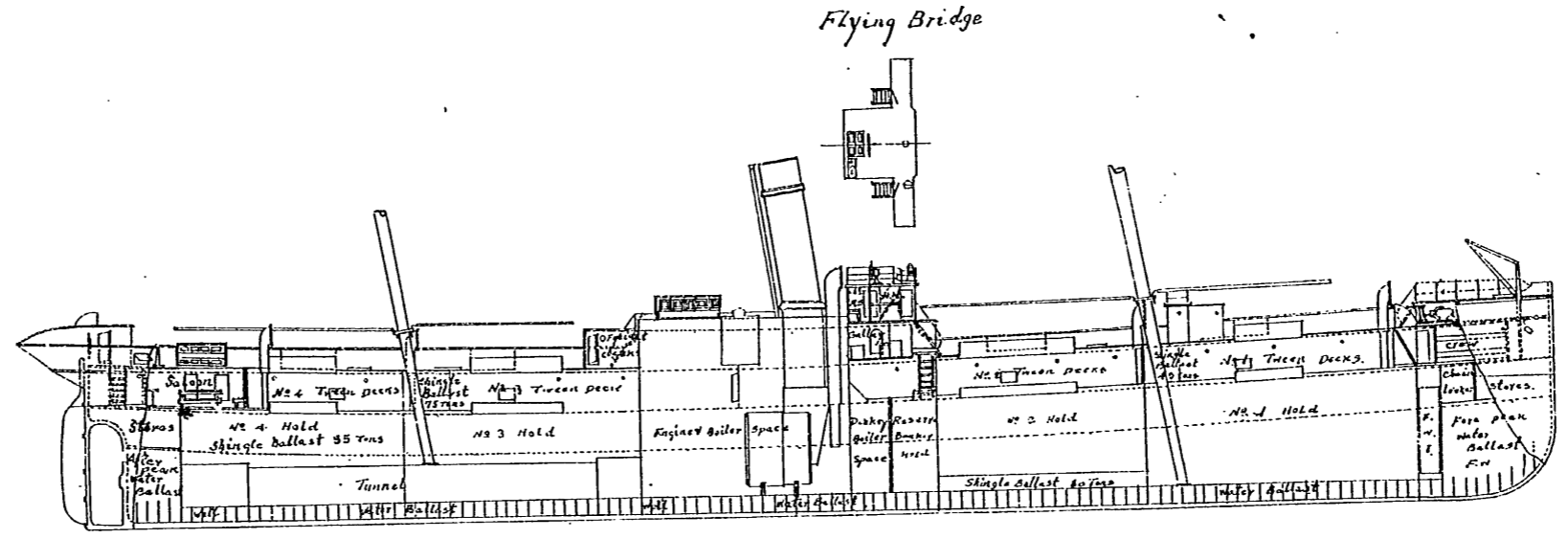
左舷石炭庫	1470. 噸噸 = 35. 噸
右舷石炭庫	2840. = 70. "
左舷中甲板石炭庫	1974. = 47. "
右舷中甲板石炭庫	2562. = 61. "
張備炭庫	合計 8946. 噸噸 = 223. 噸
	合計 7728. = 193. 噸
	合計 16674. 噸噸 = 416. 噸

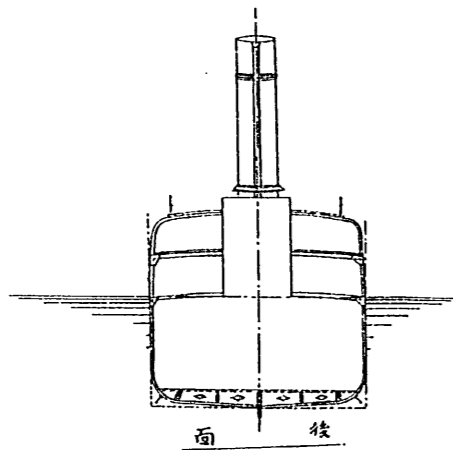
水搭載量

第一	54. 噸
第二	91. "
第三	60. "
第四	72. "
第五	59. "
第六	9. "
合計	345. 噸

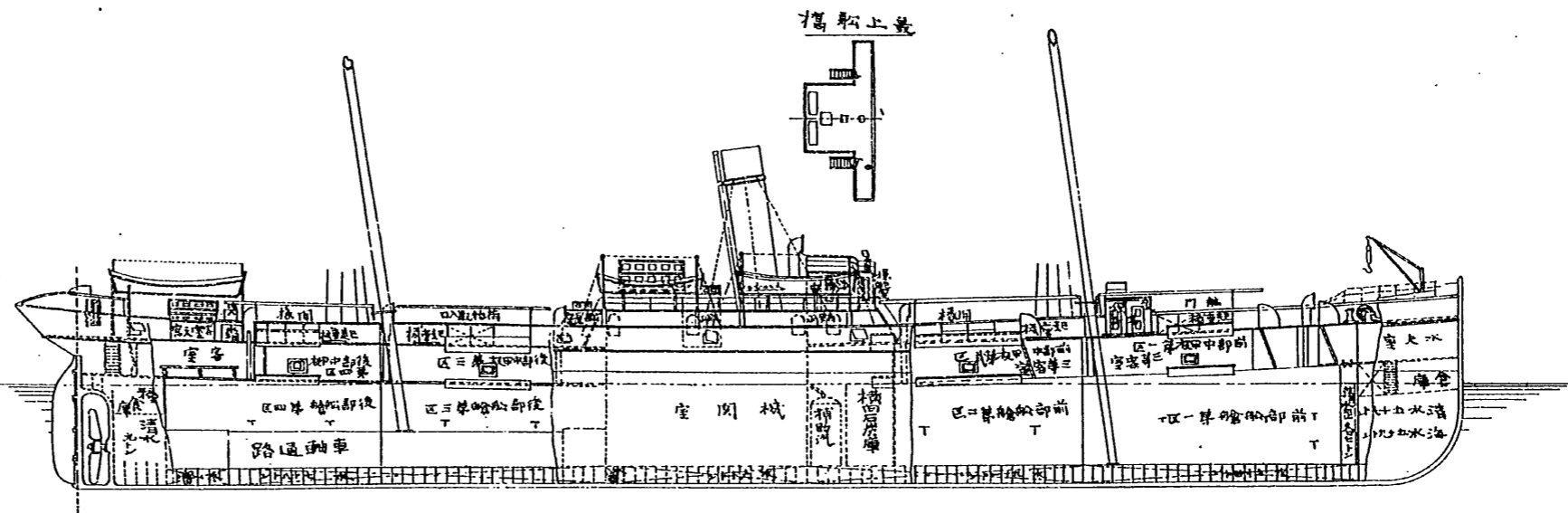
砂利搭載量

第一	80. 噸
第二	80. "
第三	75. "
第四	55. "
合計	290. 噸





後面



遠江丸全船概観

縮尺三十分之一

— 船身寸法 —

第一	戦中船身	26-1' x 7-3" x 2-11"
第二	"	26-1' x 7-1" x 2-11"
第三	カッ	21-6' x 6-6" x 2-7 1/2"
第四	カッ	21-8' x 6-5" x 2-5"
第五	カッ	23-8' x 6-2" x 2-4"
第六	カッ	19-10' x 5-2" x 2-1"

— 噸數 —

總積噸數	1953 噸
登録噸數	1402 噸

— 重要寸法 —

長 (全線間)	260'-0"
幅	36'-0"
深	18'-0"

— 荷物積載容量 —

船艙	第一区	25800 立方呎 = 645 噸
	第二区	20360 " = 509 "
	第三区	20360 " = 509 "
	第四区	14700 " = 355 "
後部甲板	第一区	3160 " = 204 "
	第二区	4800 " = 120 "
	合計	93680 立方呎 = 2342 噸
前部甲板	第一区	6520 " = 163 "
	第二区	8820 " = 213 "
積備石炭庫 (船艙)		7720 " = 193 "
	合計	116440 " = 2911 噸

— 載炭量 —

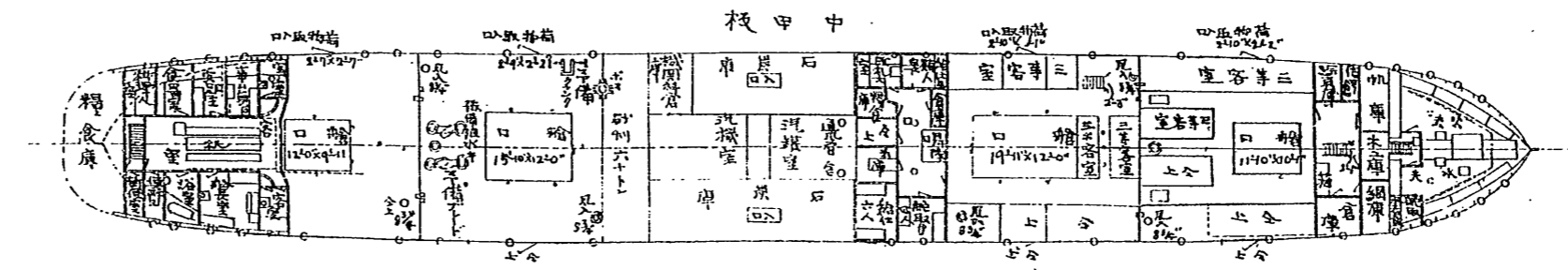
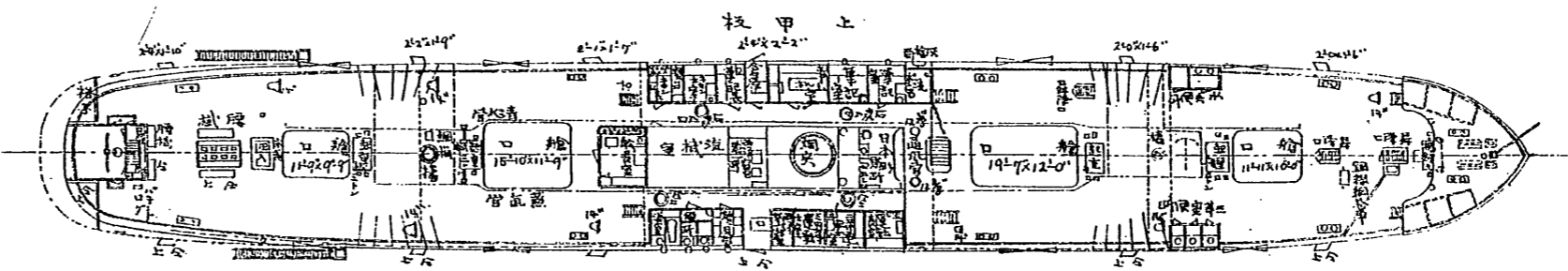
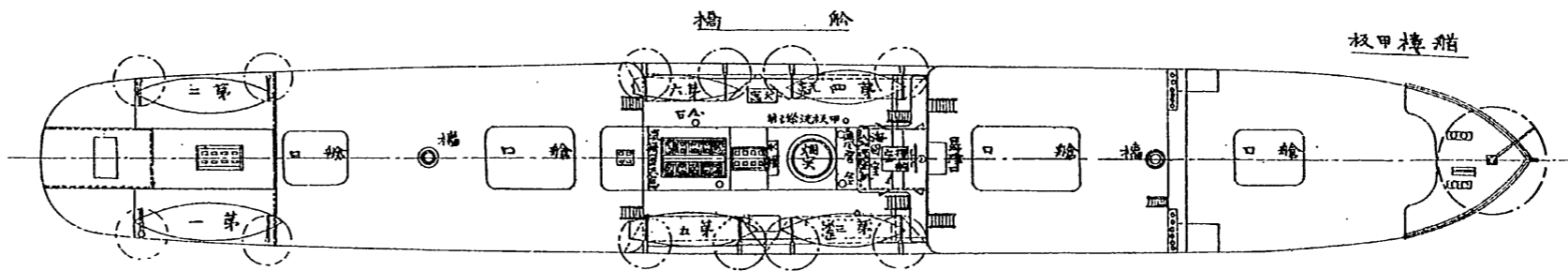
左舷石炭庫	1428 立方呎 = 34 噸
右舷	2756 " = 68 "
左舷甲板	1932 " = 48 "
右舷	2520 " = 60 "
	合計 = 8736 立方呎 = 208 噸
積備石炭庫 (船艙)	7720 立方呎 = 184 噸
	合計 = 16456 立方呎 = 392 噸

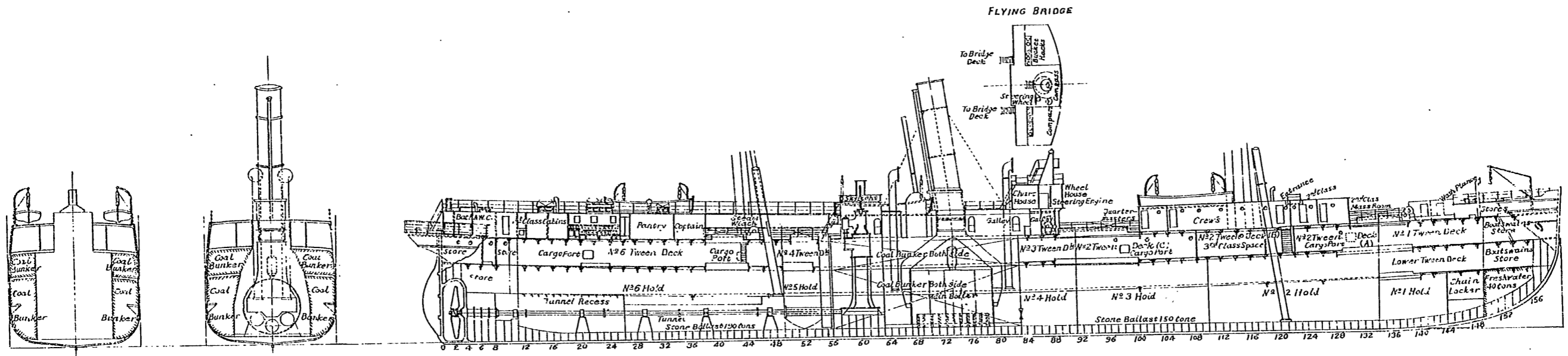
— 水搭載量 —

後部船艙	73 噸
機艙	60 噸
前部船艙	91 噸
前部甲板	27 噸
後部水艙	53 噸
前部水艙	53 噸
	合計 = 346 噸

— 淡水搭載量 —

前部水艙	57 噸
後部水艙	13 噸
前部船艙	33 噸
	合計 = 80 噸





LOOKING AFT.

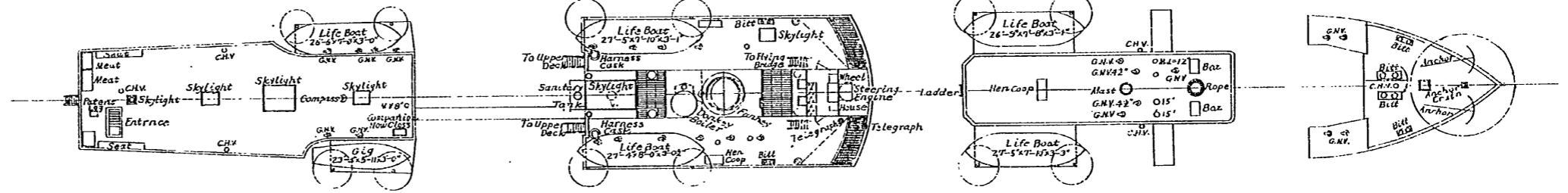
LOOKING FORWARD.

DECK HOUSE ROOF

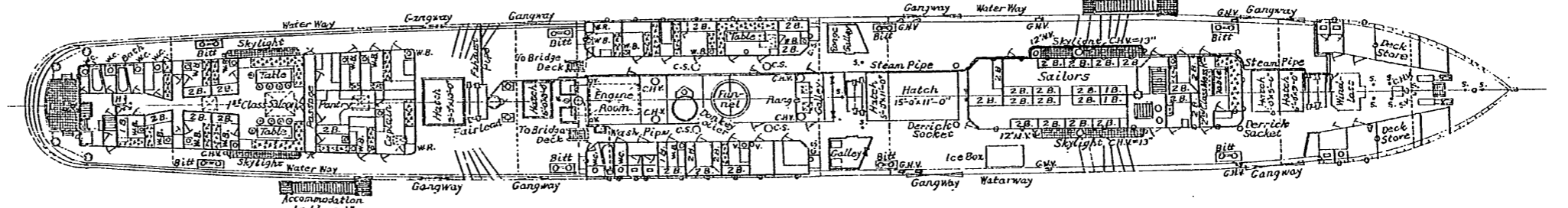
BRIDGE DECK

DECK HOUSE ROOF

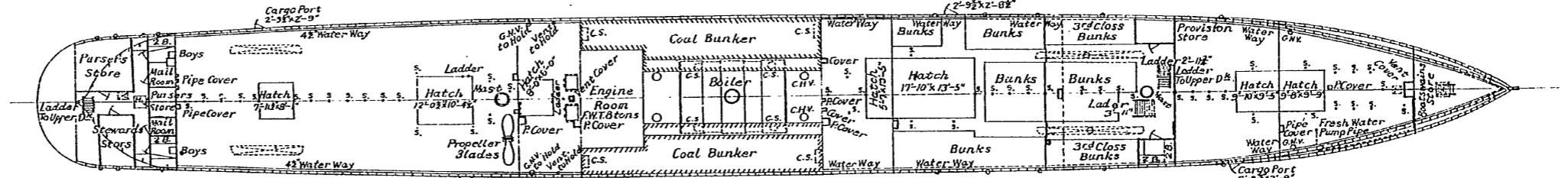
FORECASTLE



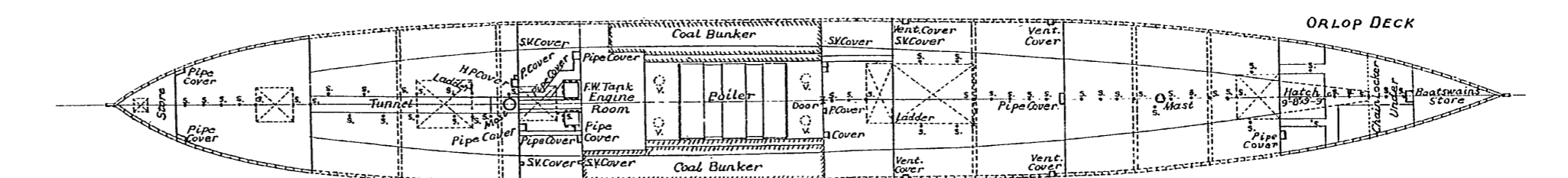
UPPER DECK



MAIN DECK



HOLD



ORLOP DECK

噸數

總積噸數	254.7
貨積噸數	157.9
下甲板	22.52

量規寸法

全長	330'-0"
垂線間長	320'-0"
最大幅	36'-4"
最大深	37'-3"

荷物搭載容量

(四十立方呎一噸トス)

船艙	第一區	3440立方呎	82.2噸
	第二區	22120立方呎	553噸
	第三區	17800立方呎	445噸
	第四區	8640立方呎	216噸
	第五區	6480立方呎	162噸
	第六區	1800立方呎	45噸
中甲板	第一區	4520立方呎	113噸
	第二區	5000立方呎	125噸
	第三區(A)	5360立方呎	134噸
	第三區(C)	8000立方呎	200噸
	第四區	3920立方呎	98噸
	第五區	2960立方呎	74噸
	合計	12148立方呎	303.7噸
中甲板第二區(B)		5680立方呎	142噸
	合計	12904立方呎	325.7噸

載炭量

(四十二立方呎一噸トス)

左舷汽機室	7518立方呎	179噸
右舷	7518立方呎	179噸
左舷機械室	1932立方呎	46噸
右舷	2373立方呎	56.5噸
合計	19341立方呎	460.5噸

荷脚搭載量(石)

船艙	第三區	200噸
	第六區	300噸
	合計	400噸

第十六章 艦隊附屬防備隊船

第一節 艦隊附屬防備隊船ノ艤裝

第一目 臺北丸

本船ハ、大阪商船株式會社所有汽船ニシテ、明治三十七年二月八日同會社ト傭入契約濟ノ後、舞鶴軍港防禦海面監視船トシテ使用シタリ、然ルニ二十九日其ノ筋ヨリ、艦隊附屬水雷敷設隊專用ヲ命セラレシヲ以テ、爾來該任務ニ服セシメシカ、三十八年一月十三日吳海軍工廠ニ於テ艤裝ニ著手シ、二十八日竣工セリ、其ノ工所要領左ノ如シ、(附圖及ヒ卷末要目表並ニ備考文書第十號參照)

- 一、前部第一船艙及ヒ第二船艙内ハ悉ク錘量格納所ニ充ツ
- 一、後部第四船艙ハ機械水雷格納所トス
- 一、後部下甲板ハ悉ク適當ナル構造ヲ以テ小銃彈藥庫、水雷火藥庫、掌帆科要具庫、掌砲科要具庫、水雷科要具庫、機械科要具庫、船匠科要具庫、糧食庫及ヒ被服庫等ヲ設ク
- 一、乗組員ハ在來ノ一等船客室ヲ士官室ニ、二等船客室ヲ下士官室ニ、前部下甲板ヲ兵員室ニ充ツ